

島根大学 研究・学術情報機構 ミュージアム年報

Annual Report of Shimane University Museum

平成27・28年度

2017.3

島根大学 研究・学術情報機構 ミュージアム

Shimane University Museum

序 文

平成 28 年 3 月、島根大学ミュージアムは、創設 10 周年を迎えました。そして 11 年目となる平成 28 年 4 月には研究・学術情報機構に所属することになりました。ミュージアムでは、これまで展示・普及啓発事業、学生教育、構内の埋蔵文化財行政、学術研究など、多種多様な業務の遂行に邁進してまいりました。

普及啓発活動としては、学内のプロジェクトセンター・生涯教育推進センターや学外の博物館・まつえ市民大学・教育委員会などと連携して、常設展示・企画展示・連続市民講座・子供向け教室・フィールド体験ツアー・キャンパスツアー・公開授業などを行っています。また、県内の小学校・中学校・高等学校の課外授業の一環としても、利用いただいております。さらに、平成 21 年 10 月、サテライトミュージアムとして松江市内にオープンした島根大学旧奥谷宿舎（旧制松江高等学校外国人宿舎）では、学内外団体との共催による展示会などを開催し、多くの来館者にご見学いただいているところです。

学生教育では、各学部の学芸員資格取得に関わる授業について、ミュージアムが一元的に開講しています。平成 24 年度からは、資格取得に必要な授業科目が大幅に増加し、これまで以上に学生教育に対する責任が重くなっています。ミュージアム所蔵標本類なども活かした、実践的な博物館学教育を推進しているところです。

島根大学ミュージアム創設 10 周年目を迎えた平成 28 年 3 月には、発足 10 周年記念特別講演会「遺跡と至宝が眠る大地の中の島大キャンパスー大学ミュージアムは地（知）のワンダーランド！」を開催することができました。これを節目に、スタッフ一同、次の 10 年に向かって思いを新たにしましたところでは。

今後は、常設展の入れ替えや、懸案となっている一元的な新しいミュージアム展示室の整備をはじめ、学外の博物館・関係諸機関との一層の連携をはかった活動を推進し、「人とともに、地域とともに」をキャッチフレーズにした島根大学の実現を目指していく所存です。

最後に、大学ミュージアムの様々な取組に、御理解と御支援をこれからもなお一層賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

平成 29 年 3 月

島根大学研究・学術情報機構ミュージアム館長 入月俊明

目次

I 規則・組織	1
1 規則.....	1
(1) 島根大学研究・学術情報機構規則.....	1
(2) 島根大学研究・学術情報機構管理委員会規則.....	2
(3) 島根大学研究・学術情報機構ミュージアム規則.....	3
(4) 普及啓発専門委員会要項.....	5
(5) 島根大学旧奥谷宿舎活用専門委員会要項.....	5
(6) 埋蔵文化財専門委員会要項.....	6
(7) 島根大学構内における埋蔵文化財の取扱いに係る判断基準.....	6
2 組織.....	9
(1) 組織構成と構成員.....	9
(2) ミュージアム運営会議.....	9
(3) 専門委員会.....	10
II 活動報告	11
1 主な活動日誌抄.....	11
2 標本資料類などの収集、整理・保管、調査研究.....	13
(1) 標本資料類などの収集.....	13
(2) 標本資料類などの整理・保管.....	13
3 博物館学および標本資料類などに係る学生教育.....	13
(1) 学芸員養成課程科目.....	13
(2) 共通教養科目（総合科目）「島大ミュージアム学」.....	15
4 標本資料類などに係る普及啓発及び地域貢献.....	15
(1) 入館者数.....	16
(2) 常設展示.....	17
(3) 企画展示など.....	17
(4) 団体見学・キャンパスツアーなど.....	19
(5) 市民講座・フィールド体験ツアーなど.....	20
(6) インターネットを活用した情報発信.....	27
5 本学構内の埋蔵文化財の取扱い.....	28
(1) 工事立会.....	28
(2) 島根大学構内遺跡第 15・16・17・18・19・20・21 次発掘調査、寿昌寺西遺跡第 1 次 発掘調査の整理・研究.....	28
6 島根大学旧奥谷宿舎（サテライトミュージアム）の活用.....	28
7 マスコミ報道状況.....	29
8 ミュージアム教員の活動記録.....	30

I 規則・組織

1 規則

(1) 島根大学研究・学術情報機構規則

(平成25年島大規則第25号)

(平成25年3月14日制定)

[平成27年3月25日一部改正]

[平成28年3月15日一部改正]

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人島根大学管理学則(平成16年島大規則第1号)第16条の規定に基づき、島根大学研究・学術情報機構(以下「機構」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 機構は、島根大学(以下「本学」という。)の全学的・学際的な研究及び学術情報に関する企画・立案・実施・検証等を行い、もって本学の研究の推進及び産学官連携の推進に寄与すること並びに学術情報を通じた教育研究活動の支援及び地域社会に向けた情報発信することを目的とする。

2 前項の目的を達成するため、機構は、各学部・研究科等の学内組織と相互に連携を図るものとする。

(業務)

第3条 機構は、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 次条の各センター等の統括に関すること。
- 二 全学的・学際的な研究の戦略的推進に関すること。
- 三 汽水域についての調査及び研究に関すること。
- 四 産学官連携の推進に関すること。
- 五 研究支援に関すること。
- 六 学内外で共同利用する情報処理システム及び情報ネットワークシステムの開発・運用に関すること。
- 七 標本資料類の収集、整理、保管、調査研究及び活用に関すること。
- 八 その他機構の目的を達成するために必要な業務

(センター等)

第4条 機構に、次のセンターを置く。

- 一 戦略的研究推進センター
- 二 汽水域研究センター
- 三 産学連携センター
- 四 総合科学研究支援センター
- 五 総合情報処理センター
- 六 ミュージアム

2 各センター等に関し必要な事項は、別に定める。

(組織)

第5条 機構に、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 機構長
- 二 専任教員
- 三 その他必要な職員

(機構長)

第6条 機構長は、学長が指名する理事をもって充てる。

2 機構長は、機構の業務を総括する。

(専任教員)

第7条 専任教員は、第4条第1項各号のセンター等のいずれかに所属させる。

2 専任教員の選考は、次条に定める管理委員会の議を経て学長が行う。

3 専任教員の選考に関し必要な事項は、別に定める。

(管理委員会)

第8条 機構の管理及び運営に関する事項を審議するため、島根大学研究・学術情報機構管理委員会(以下「管理委員会」という。)を置く。

2 管理委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第9条 機構の事務は、関係各課の協力を得て学術国際部研究協力課において処理する。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、機構に関し必要な事項は、別に定める。

附 則 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、この規則による改正後の 島根大学研究・学術情報機構規則(平成25年島大規則第25号)第7条第2項の規定は平成27年10月1日から適用する。
- 2 島根大学学術情報機構規則(平成25年島大規則第34号)は廃止する。

(2) 島根大学研究・学術情報機構管理委員会規則

(平成25年島大規則第26号)

(平成25年3月14日制定)

[平成28年3月15日一部改正]

(趣旨)

第1条 この規則は、島根大学研究・学術情報機構規則(平成25年島大規則第25号。以下「機構規則」という。)第8条第2項の規定に基づき、島根大学研究・学術情報機構管理委員会(以下「管理委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 管理委員会は、島根大学研究・学術情報機構(以下「機構」という。)に係る次の事項について審議する。

- 一 管理運営の基本方針に関すること。
- 二 機構規則第4条第1項各号に定めるセンター等の長の推薦に関すること。
- 三 機構規則第5条第2号に定める専任教員の人事(資格審査を含む。)に関すること。
- 四 予算及び決算に関すること。
- 五 その他機構の管理運営に関する必要な事項

(組織)

第3条 管理委員会は、次の委員をもって組織する。

- 一 機構長
- 二 機構規則第4条第1項各号に定めるセンターの長
- 三 各学部(総合理工学部を除く。)教員代表の教授 各1名
- 四 総合理工学研究科教員代表の教授 1名
- 五 学術国際部長
- 六 学術国際部研究協力課長
- 七 学術国際部情報企画課長

2 前項第3号及び第4号の委員は、学部長及び研究科長の申出に基づき、学長が任命する。

3 第1項第3号及び第4号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 第1項第5号から第7号までの委員は、前条第2号及び第3号の事項の審議には加わらないものとする。

(委員長)

第4条 管理委員会に委員長を置き、機構長をもって充てる。

2 委員長は、管理委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 管理委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第6条 管理委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を管理委員会に出席させることができる。

(専門委員会等)

第7条 管理委員会は、必要に応じて専門委員会等を置くことができる。

2 専門委員会等に関し必要な事項は、管理委員会が別に定める。

(事務)

第8条 管理委員会の事務は、学術国際部研究協力課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、管理委員会に関し必要な事項は、管理委員会が定める。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

2 島根大学学術情報機構管理委員会規則（平成25年島大規則第35号）は廃止する。

(3) 島根大学研究・学術情報機構ミュージアム規則

(平成25年島大規則第38号)

(平成25年3月14日制定)

[平成28年3月15日一部改正]

(趣旨)

第1条 この規則は、島根大学研究・学術情報機構規則（平成25年島大規則第34号。以下「機構規則」という。）

第4条第2項の規定に基づき、島根大学研究・学術情報機構ミュージアム（以下「ミュージアム」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 ミュージアムは、島根大学（以下「本学」という。）における標本資料類などを大学所有の有形知的財産として位置づけ、それらを収集、整理・保管及び調査研究をしようえ、展示公開などによる教育、普及啓発、情報発信の促進及び地域貢献を行うことを目的とする。

(業務)

第3条 ミュージアムは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 標本資料類などの収集、整理・保管及び調査研究に関すること。
- 二 博物館学及び標本資料類などに係る学生教育に関すること。
- 三 標本資料類などに係る普及啓発及び地域貢献に関すること。
- 四 本学構内の埋蔵文化財の取扱いに関すること。
- 五 その他ミュージアムの目的を達成するために必要な業務

(組織)

第4条 ミュージアムに、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 館長
- 二 副館長
- 三 機構規則第7条第1項の規定に基づき、ミュージアムに配置する専任教員
- 四 その他必要な職員

2 ミュージアムに、必要に応じて兼任研究員及び学外協力研究員を置くことができる。

3 兼任研究員及び学外協力研究員について必要な事項は、第7条に規定するミュージアム運営会議において定める。

(館長)

第5条 館長の選考は、機構規則第8条第1項に規定する島根大学研究・学術情報機構管理委員会（以下「管理委員会」という。）の議を経て、島根大学研究・学術情報機構長の推薦に基づき、学長が行う。

2 館長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の館長の任期は、前任者の残任期間とする。

3 館長は、ミュージアムの業務を掌理する。

(副館長)

第6条 副館長の選考は、管理委員会の議を経て、島根大学研究・学術情報機構長の推薦に基づき、学長が行う。

2 副館長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の副館長の任期は、前任者の残任期間とする。

3 副館長は、館長を補佐し、ミュージアムの業務を整理する。

(ミュージアム運営会議)

第7条 ミュージアムの業務の円滑な企画及び実施を図るとともに、ミュージアムの運営に関する事項を審議するためミュージアム運営会議を置く。

2 ミュージアム運営会議は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 第3条に規定する業務に関する事。
- 二 管理委員会から付託された人事に関する事。
- 三 ミュージアムの予算及び決算に関する事。
- 四 専門委員会等の設置に関する事。
- 五 その他島根大学研究・学術情報機構長から付託された事。

3 ミュージアム運営会議は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 館長
- 二 副館長
- 三 各学部（総合理工学部を除く。）教員代表 各1名
- 四 総合理工学研究科教員代表 1名
- 五 機構規則第7条第1項の規定に基づき、ミュージアムに配置する専任教員
- 六 附属図書館長
- 七 研究・学術情報機構総合情報処理センター長
- 八 教育・学生支援機構生涯教育推進センター長
- 九 学術国際部情報企画課長
- 十 その他館長の申出に基づき、島根大学研究・学術情報機構長が必要と認めた者

4 前項第3号及び第4号の委員は、学部長及び研究科長の申出に基づき、学長が任命する。

5 第3項第3号及び第4号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 ミュージアム運営会議は、館長が招集し、議長は館長をもって充てる。

7 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

8 ミュージアム運営会議は、委員の過半数の出席により成立する。

9 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

10 第3項第9号及び第10号の委員は、第2項第2号の事項の審議には加わらないものとする。

11 ミュージアム運営会議が必要と認めたときは、ミュージアム運営会議に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(専門委員会等)

第8条 ミュージアムの専門的課題に対応するため、必要に応じて専門委員会等を置くことができる。

2 専門委員会等に関し必要な事項は、ミュージアム運営会議において定める。

(事務)

第9条 ミュージアムの事務は、学術国際部情報企画課において処理する。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

2 次に掲げる規則は、廃止する。

- 一 島根大学ミュージアム規則（平成18年島大規則第9号）
- 二 島根大学ミュージアム管理運営委員会規則（平成18年島大規則第10号）

3 学長は、第5条第1項の規定にかかわらず、この規則施行の日において、この規則施行の日の前日に機構化される前の館長であった者を館長として任命するものとする。

4 この規則の施行後最初に任命される館長の任期は、第5条第2項の規定にかかわらず、平成26年3月31日までとする。

5 学長は、第6条第1項の規定にかかわらず、この規則施行の日において、この規則施行の日の前日に島根大学

ミュージアム副館長であった者を副館長として任命するものとする。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

(4) 普及啓発専門委員会要項

(平成25年6月3日学術情報機構ミュージアム管理運営委員会決定)

(趣旨)

第1 この要項は、島根大学ミュージアム管理運営委員会規則(平成18年島大規則第10号)第5条第2項の規定に基づき、島根大学ミュージアム普及啓発専門委員会(以下「専門委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2 専門委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 シンポジウム、研究会、公開講座等の企画及び実施
- 二 ニュースレター、広報等の編集・刊行
- 三 その他普及啓発に関する事項

(組織)

第3 専門委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 館長
- 二 副館長
- 三 ミュージアムの専任教員
- 四 ミュージアム兼任研究員・学外協力研究員のうちから若干名

2 第1項第4号の委員は、館長の推薦に基づき、学長が任命する。

3 第1項第4号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

4 専門委員会に委員長を置き、委員長は館長をもって充てる。

(会議)

第4 専門委員会は、委員長が招集し、議長は委員長をもって充てる。

2 委員長に事故があるときは、副館長がその職務を代理する。

附 則

1 この要項は、平成21年6月1日から施行する。

2 島根大学ミュージアム専門委員会内規(平成18年4月28日制定)は、廃止する。

附 則

この要項は、平成25年6月3日から実施する。

(5) 島根大学旧奥谷宿舎活用専門委員会要項

(平成25年6月3日学術情報機構ミュージアム管理運営委員会決定)

(趣旨)

第1 この要項は、島根大学ミュージアム管理運営委員会規則(平成18年島大規則第10号)第5条第2項の規定に基づき、島根大学旧奥谷宿舎活用専門委員会(以下「専門委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2 専門委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 島根大学旧奥谷宿舎の運営に係る基本計画に関すること。
- 二 島根大学旧奥谷宿舎を利用した活動等の企画及び実施
- 三 その他島根大学旧奥谷宿舎に関する事項

(組織)

第3 専門委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 館長
- 二 副館長
- 三 ミュージアムの専任教員
- 四 ミュージアム兼任研究員・学外協力研究員のうちから若干名

2 第1項第4号の委員は、館長の推薦に基づき、学長が任命する。

3 第1項第4号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

4 専門委員会に委員長を置き、委員長は館長をもって充てる。

(会議)

第4 専門委員会は、委員長が招集し、議長は委員長をもって充てる。

2 委員長に事故があるときは、副館長がその職務を代理する。

附 則

1 この要項は、平成21年6月11日から施行する。

2 島根大学ミュージアム専門委員会内規（平成18年4月28日制定）は、廃止する。

附 則

この要項は、平成25年6月3日から実施する。

（6）埋蔵文化財専門委員会要項

（平成25年6月3日学術情報機構ミュージアム管理運営委員会決定）

（趣旨）

第1 この要項は、島根大学ミュージアム管理運営委員会規則（平成18年島大規則第10号）第5条第2項の規定に基づき、島根大学ミュージアム埋蔵文化財専門委員会（以下「専門委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（審議事項）

第2 専門委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 埋蔵文化財の発掘調査・試掘調査・確認調査・工事立会に係る基本計画に関する事
- 二 埋蔵文化財の修復保存に係る基本計画に関する事
- 三 その他埋蔵文化財に関する事項

（組織）

第3 専門委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 館長
- 二 副館長
- 三 ミュージアムの専任教員
- 四 ミュージアム兼任研究員・学外協力研究員のうちから若干名

2 第1項第4号の委員は、館長の推薦に基づき、学長が任命する。

3 第1項第4号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

4 委員会に委員長を置き、委員長は館長をもって充てる。

（会議）

第4 専門委員会は、委員長が招集し、議長は委員長をもって充てる。

2 委員長に事故があるときは、副館長がその職務を代理する。

附 則

1 この要項は、平成21年6月11日から施行する。

2 島根大学ミュージアム専門委員会内規（平成18年4月28日制定）は、廃止する。

附 則

この要項は、平成25年6月3日から実施する。

（7）島根大学構内における埋蔵文化財の取扱いに係る判断基準

1 目的

本基準は、文化財保護法（昭和25年法律第214号）の趣旨を尊重し、島根大学敷地内の開発事業に伴う埋蔵文化財の取扱いに係る基本的な判断基準を定め、埋蔵文化財を適切に保護し、将来への保存を図ることを目的とする。

2 適用対象

本基準は、島根大学が所有する全ての敷地内における開発に伴う埋蔵文化財取扱いに適用する。

3 定義

（1）「試掘調査」とは、埋蔵文化財の有無が地表面の観察等からでは判断できない場合に、部分的に発掘する調査をいう。

（2）「確認調査」とは、埋蔵文化財包蔵地の範囲・性格・内容等の概要までを把握するため、部分的に発掘する調査をいう。

（3）「発掘調査」とは、開発事業等に際し、影響を受ける埋蔵文化財を事前に発掘し、詳細な記録を作成する措置を執ることをいう。

（4）「工事立会」とは、工事の施工に際し、専門職員等が立ち合い、遺構・遺物包含層等が確認される等のことがあった場合には、必要に応じて適切な措置を執ることをいう。

（5）「慎重工事」とは、埋蔵文化財包蔵地において工事を行うものであることを十分認識したうえで慎重に施工することをいう。

4 埋蔵文化財として取扱う時代範囲

（1）近世までに属する遺跡は、原則として全て埋蔵文化財として取扱うこととする。

（2）近現代の遺跡については、島根県や各市町村ならびに島根大学の歴史解明のために重要なものを埋蔵文化財

として取り扱うこととし、その決定は、島根大学ミュージアム埋蔵文化財専門委員会において行なうこととする。

5 「発掘調査」を要する範囲の決定

埋蔵文化財の「発掘調査」を要する範囲は、それまでに行われた諸調査の成果に加え、必要に応じて「試掘調査」・「確認調査」等を実施したうえで、島根大学ミュージアム埋蔵文化財専門委員会において決定する。

6 埋蔵文化財取扱いの判断基準

開発事業に際しての埋蔵文化財の取扱いについては、次の原則と別表に基づいて、「発掘調査」その他の措置を講ずるものとし、その決定は、島根大学ミュージアム埋蔵文化財専門委員会において行なうこととする。

(1) 次の場合においては、「発掘調査」を実施するものとする。

ア工事により埋蔵文化財が掘削され、破壊される場合。

イ掘削が埋蔵文化財に影響を及ぼさない場合であっても、工事によって地下の埋蔵文化財に影響を及ぼすおそれのある場合。

ウ一時的な工作物の設置や盛土・埋立の場合であっても、その重さによって地下の埋蔵文化財に影響を及ぼすおそれのある場合。

エ恒久的な工作物の設置や盛土・埋立により、埋蔵文化財と人との関係が絶たれ、当該埋蔵文化財が損壊したのに等しい状態となる場合。

(2) 次の場合においては、「工事立会」を行うものとする。

ア一時的な工作物の設置や盛土・埋立で、現地で状況を確認する必要がある場合。

イ恒久的な工作物の設置や盛土・埋立の場合であっても、将来的に発掘調査が可能な条件が満たされると判断される場合。

(3) 既に行われた土木工事等により埋蔵文化財が損壊を受けた範囲内の工事で、埋蔵文化財に新たな影響が生じないと判断される場合等は、「慎重工事」の措置を講ずる。なお、施工中に遺構・遺物を発見した場合は、速やかにミュージアムに連絡をとり、所定の手続きをとる。

7 島根県教育委員会・関係市町村教育委員会との連携について

埋蔵文化財の取扱いに関しては、島根県教育委員会をはじめ関係市町村教育委員会と十分な連携をはかり、慎重に判断するものとする。

8 開発計画から埋蔵文化財取扱いまでの流れ

開発計画から埋蔵文化財取扱いまでの流れは、別図に基づいて適切に進めるものとする。

附 則

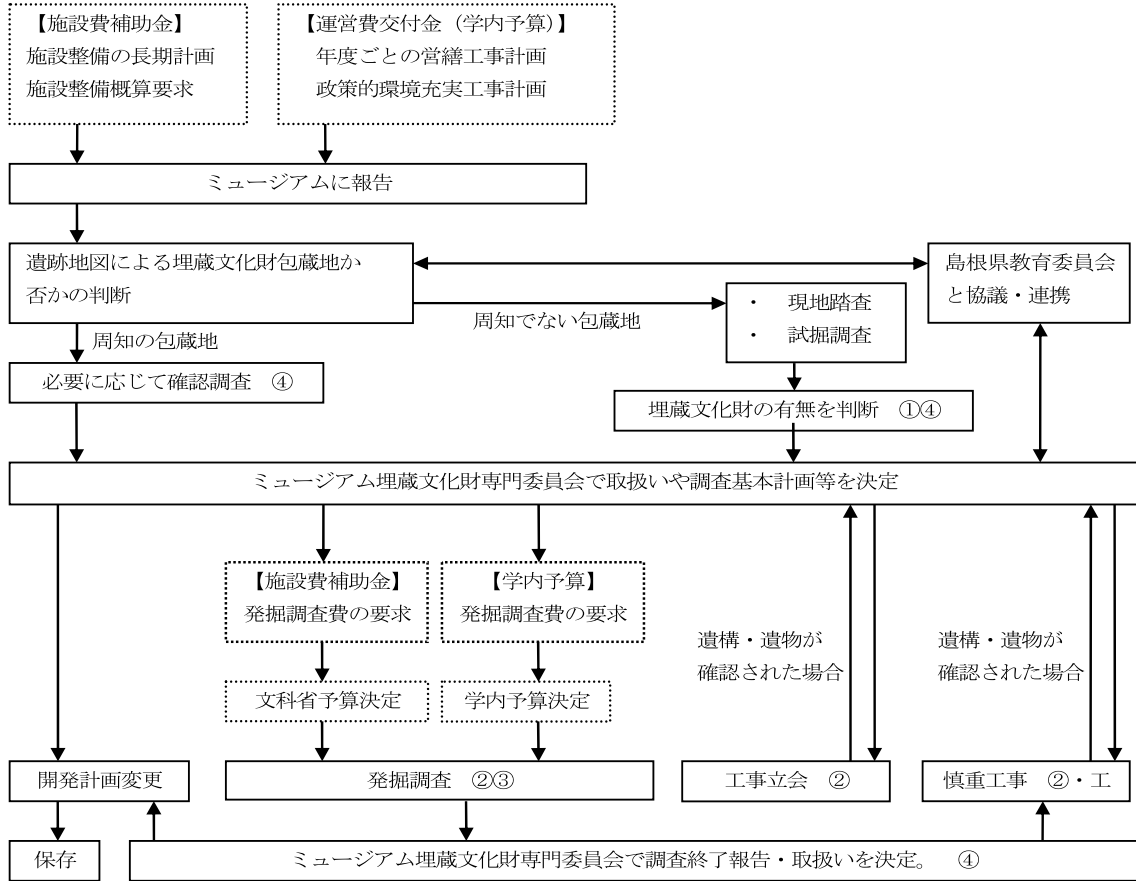
本基準は、平成18年4月1日から適用する。

別表

工事内容・種類		取扱い	
<ul style="list-style-type: none"> 工事により埋蔵文化財が掘削され、破壊される場合。 掘削が埋蔵文化財に直接及ばない場合であっても、工事によって地下の埋蔵文化財に影響を及ぼすおそれがある場合。 通常 20 年以上の耐久度を有しない一時的な工作物の設置や盛土・埋立の場合であっても、その重さによって地下の埋蔵文化財に影響を及ぼすおそれのある場合。 通常 20 年以上の耐久度を有した恒久的な工作物の設置や盛土・埋立により、埋蔵文化財と人との関係が絶たれ、当該埋蔵文化財が損壊したのに等しい状態になる場合。 		開発事業等に際し、事前に「発掘調査」を実施し、詳細な記録を作成する。	発掘調査
道路			
厚さ 2m 以上の恒久的な盛土・埋立			
校舎・共同溝等の建築物・埋納物		工事の施工中に調査員が立ち会い、遺構・遺物包含層等が確認される等のことがあった場合には、その記録をとり、工事を変更する等、適切な措置を講ずる。 ただし、次の場合においては、発掘調査を実施するものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 将来において発掘調査が可能な条件が満たされない場合。 遺構面あるいは遺物包含層上面から厚さ 30cm 程度の保護層が確保できない場合。 掘削等により埋蔵文化財に影響が及ぶ部分とそうでない部分、あるいは埋蔵文化 	工事立会
<ul style="list-style-type: none"> 一時的な工作物の設置や盛土・埋立で、現地で状況を確認する必要がある場合。 恒久的な工作物の設置や盛土・埋立の場合であっても、将来的に発掘調査が可能な条件が満たされると判断される場合。 			
道路	歩道		
	植樹帯・緑地帯		
野球場・競技場			
駐車場			
公園・緑地			
厚さ 2m 未満の恒久的な盛土・埋立			

	財に影響が及ぶ部分と盛土・埋立の部分が著しく交錯する場合。 ・ 現地表面に立体的に遺存する埋蔵文化財が、盛土等の施工に伴う地形の変化により、外観上所在が把握できなくなる場合	
・ 既に行われた土木工事等により埋蔵文化財が損壊を受けた範囲内の工事で、埋蔵文化財に新たな影響が生じないと判断される場合。	埋蔵文化財包蔵地において工事を行うものであることを十分認識したうえで、慎重に施工し、遺構・遺物を発見した場合は、速やかにミュージアムに連絡をとる。	慎重工事

別図 開発と埋蔵文化財取扱いについてのフローチャート



(注)

- ① 遺構・遺物を確認した場合、「遺跡発見届」を島根県教育委員会（市町村教育委員会経由）に提出。
- ② 「埋蔵文化財発掘届（文化財保護法）第93条第1項」を調査（工事）開始60日前までに島根県教育委員会（市町村教育委員会経由）に提出。
- ③ 「埋蔵文化財発掘届（文化財保護法92条第1項）」を調査開始30日前までに島根県教育委員会（市町村教育委員会経由）に提出。
- ④ 遺物を発見した場合、「埋蔵文化財発見届」を所轄警察署に提出。

2 組織

(1) 組織構成と構成員

島根大学ミュージアムは、平成 25 年度からの学内センターの機構編成化によって学術情報機構に所属した。平成 28 年度からは、機構の再編成によって研究機構と統合し、研究・学術情報機構に所属している。組織構成と構成員は下記の通りである。

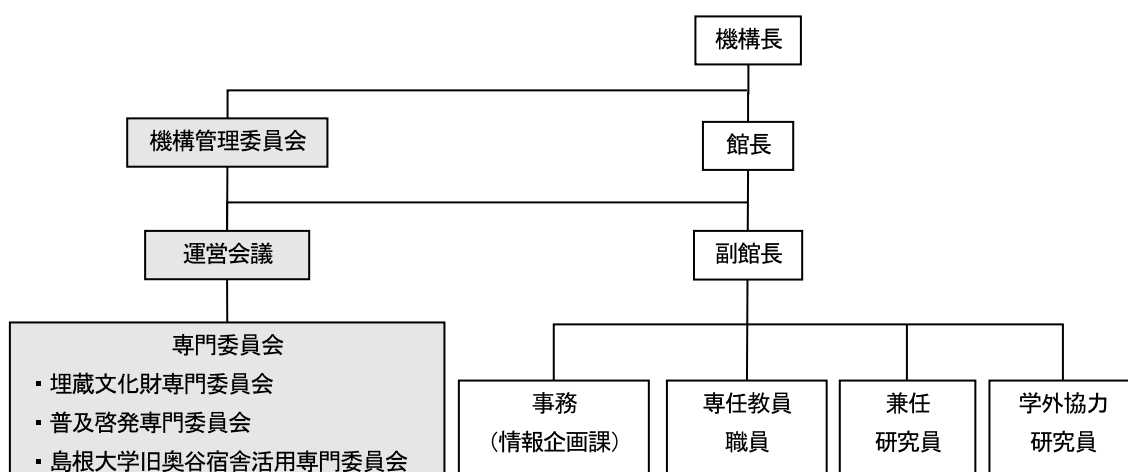


図1 ミュージアムの組織図

館長	総合理工学研究科	教授	入月俊明	
副館長	ミュージアム	准教授	會下和宏	
兼任研究員	法文学部	教授	大橋泰夫	
	法文学部	准教授	岩本 崇	
	法文学部	准教授	及川 穰	
	法文学部	教授	小林准士	
	法文学部	准教授	西田 兼	
	法文学部	准教授	飯野公央	
	教育学部	教授	大谷修司	
	教育学部	教授	作野広和	
	医学部	教授	小林裕太	(平成 28 年 3 月 31 日まで)
	医学部	教授	橋本龍樹	(平成 28 年 4 月 1 日から)
	総合理工学研究科	教授	三瓶良和	
	総合理工学研究科	准教授	酒井哲弥	
	生物資源科学部	准教授	秋吉英雄	
	生物資源科学部	准教授	山岸主門	
職員	生涯教育推進センター	教授	仲野 寛	
	情報企画課	技術補佐員	田中浩子	

(2) ミュージアム運営会議

平成 27 年度

委員長 館長

教授 入月俊明

委員 副館長・専任
法文学部
教育学部
医学部
生物資源科学部
総合理工学研究科
附属図書館長
総合情報処理センター長
生涯教育推進センター長
学術国際部情報企画課長

准教授 會下和宏
准教授 佐々木愛
教授 藤田英樹
教授 橋本龍樹
准教授 泉 洋平
教授 高須 晃
教授 杉江実郎
教授 會澤邦夫
教授 伊藤康宏
大西啓治

平成 28 年度

委員長 館 長
委員 副館長・専任
法文学部
教育学部
医学部
生物資源科学部
総合理工学研究科
附属図書館長
総合情報処理センター長
生涯教育推進センター長
学術国際部情報企画課長

教授 入月俊明
准教授 會下和宏
准教授 佐々木愛
教授 藤田英樹
教授 橋本龍樹
准教授 川口英之
教授 黒岩大史
教授 杉江実郎
教授 會澤邦夫
教授 伊藤康宏
大西啓治

(3) 専門委員会

埋蔵文化財専門委員会

委員長 館 長	教授 入月俊明		
委員 副館長・専任	准教授 會下和宏	法文学部	教授 大橋泰夫
法文学部	准教授 岩本 崇	法文学部	准教授 及川 穰
法文学部	准教授 平郡達哉	総合理工学研究科	教授 三瓶良和
総合理工学研究科	准教授 酒井哲弥		
医学部	教授 小林裕太	(平成 27 年度まで)	
医学部	教授 橋本龍樹	(平成 28 年度から)	

普及啓発専門委員会

委員長 館 長	教授 入月俊明		
委員 副館長・専任	准教授 會下和宏	法文学部	教授 小林准士
法文学部	准教授 西田 兼	教育学部	教授 大谷修司
生物資源科学部	准教授 秋吉英雄	総合理工学研究科	教授 三瓶良和
総合理工学研究科	准教授 酒井哲弥		
医学部	教授 小林裕太	(平成 27 年度まで)	
医学部	教授 橋本龍樹	(平成 28 年度から)	

島根大学旧奥谷宿舎活用専門委員会

委員長 館 長	教授 入月俊明		
委員 副館長・専任	准教授 會下和宏	法文学部	准教授 飯野公央
教育学部	教授 作野広和	生物資源科学部	准教授 山岸主門
生涯教育推進センター	教授 仲野 寛		
医学部	教授 小林裕太	(平成 27 年度まで)	
医学部	教授 橋本龍樹	(平成 28 年度から)	

II 活動報告

1 主な活動日誌抄

【平成27年度】

平成27年4月

- 4月3日 新入生歓迎ツアーでミュージアム見学
- 4月20日 団体見学（総合理工学部古生物学実習）
- 4月23日 寄託資料・初期人類オロリンを特別展「生命大躍進」のために貸出

平成27年5月

- 5月3～5日 広島フラワーフェスティバルでパネル展示。2200名来場
- 5月15日 『島根大学ミュージアム年報 平成25・26年度』を刊行
- 5月30日 第78回ミュージアム講座「人の暮らしに近い山、三瓶山」開催

平成27年6月

- 6月22日 団体見学（川津小学校児童）
- 6月27日 第79回ミュージアム講座「世界で最も深い谷の景観と自然史：ネパール・カリガンダキ川」開催

平成27年7月

- 7月4日 第80回ミュージアム講座「『出雲国風土記』にみる山の信仰」開催
- 7月24日 キャンパスツアー（淀江公民館26名）
- 7月31日 団体見学（生物資源科学部授業）

平成27年8月

- 8月4日 夏休み子どもミュージアム体験教室「宍道湖・中海の水底に棲む生物を観察しよう！」開催
- 8月8日 第11回島根まるごとミュージアム体験ツアー「国史跡の縄文時代洞窟遺跡を訪れる」開催
- 8月8日 夏休み子どもミュージアム体験教室パート2「縄文人が暮らした洞窟遺跡を船で探検してみよう！」開催
- 8月9日 オープンキャンパス特別開館
- 8月29日 第81回ミュージアム講座「山・川と古代人の信仰」開催
- 7月18日～8月30日 企画展「洋館で見る出雲地域の化石展」開催

平成27年9月

- 9月17日 団体見学（八雲中学校・米子高校生徒115名）
- 9月18日 団体見学（出雲北陵中学校生徒）
- 9月29日 団体見学（呉宮原高校PTA）

平成27年10月

- 10月7日 団体見学（松江南高校生徒）
- 10月11日 ホームカミングデー・キャンパスツアー開催
- 10月11～12日 島根大学園祭：島大ミュージアム・クイズラリー「展示クイズに答えてミュージアムグッズをもらおう！」開催
- 10月20日 団体見学（アフリカ訪日団）
- 10月20日 団体見学（境高校・江津高校・隠岐高校・石見智翠館高校生徒84名）
- 10月22日 キャンパスツアー（米子市老人会）
- 10月24日 島根大学くまびきジオパークプロジェクトセンター主催・第4回くまびきジオパーク探訪会、会下副館長出講
- 10月31日 島根大学くまびきジオパークプロジェクトセンター主催・第5回くまびきジオパーク探訪会、入月館長出講
- 10月31日 第82回ミュージアム講座「弥生集落の動向からみた出雲地域の成り立ち」開催

平成27年11月

- 11月5日 団体見学（玉島高校・矢上高校生徒83名）
- 11月7日 第83回ミュージアム講座「出土文字資料からみた『古代出雲』」開催
- 11月10日 団体見学（大田高校・平田高校・江津高校生徒75名）
- 11月11日 団体見学（隠岐島前高校生徒20名）
- 11月25日 団体見学（倉吉東高校PTA）

平成27年12月

- 12月5日 第84回ミュージアム講座「出雲国府と出雲国誕生」開催
- 12月12日 オールしまねCOC+事業「キックオフセミナー」&「しまね大交流会」に出展
- 12月25日 団体見学（授業「島大ミュージアム学」学生142名）

平成28年2月

- 2月5日 団体見学（荒神谷ボランティアガイドの会）
2月20日 第85回ミュージアム講座「石棺式石室と黄泉の国訪問譚 九州・山陰・畿内とその境界」開催
平成28年3月
3月5日 島根大学主催『古代出雲文化フォーラムⅣ』、会下副館長登壇
3月6日 島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター主催・シンポジウム、入月館長登壇
3月19日 第86回ミュージアム講座「先史・古代東アジア海域交流の一側面―朝鮮半島・北部九州・山陰」開催
3月26日 ミュージアム発足10周年記念特別講演会「遺跡と至宝が眠る大地の中の島大キャンパス」開催

【平成28年度】

平成28年4月

- 4月1日 ミュージアムが学術情報機構から研究・学術情報機構の所属になる。

平成28年5月

- 5月2日 団体見学（出雲市立向陽中学校生徒）
5月21日 第12回島根まるごとミュージアム体験ツアー「ローカル鉄道『三江線』で巡る江の川流域の地域遺産Ⅱ」開催

平成28年6月

- 6月4日 第87回ミュージアム講座「東南アジア・ラオスの歴史と遺跡」開催
6月20日 ミャンマー・パテイン大学学長が来館
6月22日 団体見学（川津小学校児童91名）
6月25日 第88回ミュージアム講座「スリランカの自然環境と直面する災害」開催

平成28年7月

- 7月16日 第89回ミュージアム講座「寧夏回族自治区における課題解決型の研究交流について」開催
7月18日～8月28日 ミニ企画展「旧制松江高校出身の異才編集者 花森安治と田所太郎」（第1期）開催

平成28年8月

- 8月6日 夏休み子どもミュージアム体験教室「いいとこ探検隊！ in 沖泊 ～島根半島の大自然と食とくらしを体験しよう！～」開催
8月6日 第90回ミュージアム講座「太平洋の小さな島国からみる世界～ヴァヌアツをフィールドとして」開催
8月8日 オープンキャンパス企画「ミュージアム展示クイズに答えて島大グッズをゲットしよう！」開催

平成28年9月

- 9月15日 団体見学（米子高校生徒55名）

平成28年10月

- 10月2日 第91回ミュージアム講座「『出雲国風土記』と掘り出された古代の道」開催
10月9日 第10回島根大学ホームカミングデー・キャンパスツアー開催
10月9～10日 島根大学園祭：島大ミュージアム・クイズラリー「展示クイズに答えてミュージアムグッズをもらおう！」開催
10月22日 第1回島根大学ミュージアム特別講座 in 広島 Part2「初めて列島に到達したホモ・サピエンスの痕跡」開催
10月23日 第92回ミュージアム市民講座「弥生時代の山陰におけるモノの流通」開催

平成28年11月

- 11月2日 第2回島根大学ミュージアム特別講座 in 広島 Part2「弥生時代の集落・墳墓からみた『出雲』の成り立ち」
11月7日 団体見学（福山地区高等学校PTA連合会44名）
11月16日 キャンパスツアー（広島県府中町町内会）

平成28年12月

- 12月3日 第3回島根大学ミュージアム特別講座 in 広島 Part2「考古学からみた先史・古代の出雲と朝鮮半島」開催
12月11日 「しまね大交流会2016」に出展

平成29年1月

- 1月8日 第93回ミュージアム講座「古代の道とゆきかう人々」開催
1月21日 第4回島根大学ミュージアム特別講座 in 広島 Part2「再生される四隅突出型墳丘墓」開催

平成29年2月

- 2月4日 第5回島根大学ミュージアム特別講座 in 広島 part2「東アジアのなかの古代出雲」開催
2月12日 第94回島根大学ミュージアム市民講座「大原郡家の移転について―雲南市・郡垣遺跡の調査成果を中心に―」開催
2月18日 第6回島根大学ミュージアム特別講座 in 広島 part2「『出雲国風土記』と掘り出された古代の道」開催

平成29年3月

- 3月11日 島根大学公開講座（出前講座）「高津川流域の資源と文化を考える」、会下副館長出講
3月19日 島根大学主催『古代出雲文化フォーラムⅤ』、会下副館長登壇

2 標本資料類などの収集、整理・保管、調査研究

(1) 標本資料類などの収集

平成 27 年度、下記の学内所蔵資料をミュージアムに移管した。

- ・生物資源科学部生物科学科所蔵のカエル・ヘビ骨格標本ほか 12 点

(2) 標本資料類などの整理・保管

島根大学構内遺跡出土遺物や上記標本類などのミュージアム所蔵資料は、ミュージアム本館の建物内収蔵室において適切な環境のもとに整理・保管している。また、「島根大学標本資料類データベース」に登録するため、昆虫標本をはじめとしたミュージアム所蔵資料などのデータ整理・デジタル写真撮影を進めた。

また、下記の資料を他機関に貸し出した。

①資料名 オロリン化石標本レプリカ 1 件 3 点 (寄託資料)

期 間 平成 27 年 4 月～平成 28 年 9 月

貸出先 NHK プロモーション

理 由 特別展「生命大躍進」(国立科学博物館ほか巡回)での展示のため

②資料名 カナバリアの一種 (標本番号 SMU-TC-F0098) 1 点

期 間 平成 28 年 6 月 1 日～10 月 31 日

貸出先 島根県立三瓶自然館

理 由 平成 28 年度夏期特別企画展「ジュラシック・シー～海の恐竜とぐるぐるアンモナイト～」での展示のため

3 博物館学および標本資料類などに係る学生教育

(1) 学芸員養成課程科目

平成 27・28 年度、ミュージアムが開講した科目は表 1 の通り。「博物館法施行規則」の一部改正によって、学芸員資格取得に必要な単位数が大幅に増加したことを受けて、平成 24 年度から新カリキュラムによる授業を開始している。平成 23 年度以前の入学生は旧カリキュラム、平成 24 年度以降の入学生・編入生・科目等履修生は新カリキュラムを履修した。

平成 27・28 年度における学芸員資格取得に必要な科目の受講者数は、表 2 の通り博物館概論で 3 学部合計 82～93 名を数える。課程の最終段階で受講する博物館実習Ⅲ(館園実習)では、3 学部合計 50～66 名を数える。

以上のように学芸員資格は、教員免許と並んで、文系・理系学生とも取得ニーズが高い。大学ミュージアム施設などを活用したり、大学ミュージアムの普及啓発活動と実習をリンクさせた形で教育プログラムを試行したりするなどして、より良質で実践的な授業を展開し、即戦力となり得る学芸員養成に努めていきたい。

なお、平成 27・28 年度に博物館実習Ⅲ(館園実習)で学生を受け入れていただいた学外の施設は下記の通りである。

・法文学部：島根県立美術館・島根県立古代出雲歴史博物館・松江歴史館(平成 27 年度)・和鋼博物館(平成 28 年度)

・生物資源科学部：島根県立三瓶自然館・島根県立宍道湖自然館

・総合理工学部：モニュメントミュージアム来待ストーン・奥出雲多根自然博物館

表1 学芸員資格取得に必要な科目

【新カリキュラム（平成24年度入学生・編入生・科目等履修生）】

博物館法施行規則に定める科目及び単位		法文学部学生	生物資源科学部学生	総合理工学部学生	
科目	法定単位				
生涯学習概論	2	生涯教育論（後期集中）（仲野 寛・*宮地孝宜）			
博物館概論	2	選択	博物館概論A（前期）（会下和宏）		
			博物館概論B（前期集中）（*高安克己）		
博物館資料論	2	博物館資料論（前期）（会下和宏）			
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論（後期）（*沢田正明・会下和宏）			
博物館展示論	2	選択	博物館展示論A（後期）（会下和宏）		
			博物館展示論B（後期集中）（*菅田康彦）		
博物館経営論	2	博物館経営論（前期集中）（*永井 泰）			
博物館情報・メディア論	2	選択	博物館情報・メディア論A（後期）（会下和宏）1単位		
			博物館情報・メディア論B（後期集中）（会下和宏）1単位		
博物館教育論	2	選択	教育の方法と技術（後期）（高山草二）2単位	教育の方法と技術（後期集中）（森本直人）2単位	
			教育原論Ⅱ（前期）（*渋山昌雄）2単位	教育原論Ⅱ（後期集中）（*渋山昌雄）2単位	
博物館教育論	2	選択	博物館教育論A（後期）（会下和宏）1単位		
			博物館教育論B（後期集中）（会下和宏）1単位		
博物館実習	3		・博物館実習Ⅰ（学内実習）（前期）（会下和宏）1単位 ・その他、専門科目の実習で振替	博物館実習Ⅰ（学内実習） →専門科目の実習で振替	博物館実習Ⅰ（学内実習） →専門科目の実習で振替
			博物館実習Ⅱ（学内実習）（前期）（会下和宏）1単位	博物館実習Ⅱ（学内実習）（前期）（石田秀樹・宮永龍一・林 蘇娟・高畠育雄・会下和宏）1単位	博物館実習Ⅱ（学内実習）（前期）（*永井泰・会下和宏）1単位
			博物館実習Ⅲ（館園実習）（前期集中）（会下和宏）1単位	博物館実習Ⅲ（館園実習）（後期集中）（石田秀樹・宮永龍一・秋廣高志）1単位	博物館実習Ⅲ（館園実習）（後期集中）（会下和宏）1単位

・*印は嘱託講師／・博物館実習Ⅲの実施は、学外の各博物館に依頼。

表2 学芸員関係科目の受講者数

	年度	21	22	23	24	25	26	27	28
	博物館概論	法文学部	51 (4)	36	32 (1)	32	34	40	37
生物資源科学部		34	49	32	29	38	23	16	28
総合理工学部		43	47	17 (1)	36	17	28	40	21
合計		128	132	81	97	89	91	93	82
博物館実習Ⅲ（館園実習）	法文学部	52 (2)	34 (4)	33 (2)	27	20	17 (1)	28 (1)	24
	生物資源科学部	32	14	22	24	20	19	14	24
	総合理工学部	9	10	19 (1)	9	14	10	8	18
	合計	93	58	74	60	54	46	50	66

・人数は未修者なども含む。／・() 内は社会人受講生（科目等履修生）の人数。

(2) 共通教養科目(総合科目)「島大ミュージアム学」

後期に共通教養科目(総合科目)の「島大ミュージアム学」を公開授業で実施した。概要は以下の通り。

授業科目名 「島大ミュージアム学—島根大学と島根県の自然・歴史・ひと・文化」

授業の目的 島根大学で学ぶ学生は、県内外の出身地を問わず、島根県の自然・歴史・文化や本学の学校史、顕著な業績をあげた教官・卒業生などについての知識が希薄であるように見受けられる。そこで本授業では、「ミュージアム」「フィールド」「モノ」をキーワードにして、島根県の自然・歴史・文化や島根大学の学校史・著名人(自校教育)などの基礎的事項について、学際的に学ぶものとする。あわせて、公開授業として地域市民にも聴講してもらう。

達成目標 島根県・島根大学について、広い基礎知識を得てもらおうようにする。本授業を通して、学生や地域市民のなかに、島根県や本学に対する誇り・愛着が醸成されることを期待する。

科目 共通教養科目・選択 **対象** 1年次、市民

単位数 2単位 **曜日・時間** 金曜日・2コマ目(10:15~11:45)

担当教員

会下和宏(島根大学ミュージアム准教授)、角田徳幸(島根県教育委員会)、小泉凡(島根県立大学短期大学部教授)、中村唯史(島根県立三瓶自然館)

評価 受講登録者数は、平成27年度が学生184名、平成28年度が学生213名。市民パスポート会員の社会人聴講生も毎年数名いる。平成27・28年度も引き続き、第5回には、旧制松江高校ドイツ人教師宿舎として建てられた島根大学旧奥谷宿舎(サテライトミュージアム、松江市奥谷町)やその周辺を散策し、歴史的な町の風景の価値、これらの保護と活用などについて考えさせることをねらいにした授業を実施した。第11回(平成27年度)ないし第12回(平成28年度)には、ミュージアム展示室において前身校の時代から収集されてきた標本類の見学を行った。

4 標本資料類などに係る普及啓発及び地域貢献

島根大学憲章に明記された、「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」という本学の理念を具体的に実現させるために、ミュージアムミッションに沿って、以下のような、様々な展示・教育普及プログラムを開発・企画・実施した。



博物館実習Ⅱ(法文学部学生向け)

松江市宍道町モニュメントミュージアム来待ストーンを見学し、学芸員から説明を受ける法文学部受講生(28.7.6)



共通教養科目「島大ミュージアム学」第5回

島根大学旧奥谷宿舎(サテライトミュージアム)周辺の松江城下町を歩き、町並みや文化財の保存活用について考える受講生(28.11.4)

(1) 入館者数

①松江キャンパス（ミュージアム本館展示室、山陰地域資料展示室ほか）

学内の展示施設のうち、ミュージアム本館（ミュージアム管轄）と山陰地域資料展示室（汽水域研究センター管轄）の入館者数は表3の通り。

ミュージアム本館は、平日（月～金）午前9時～午後4時30分開館で、時間内は見学者を随時受け入れる体制になっている。島根大学ミュージアム本館建物の壁面に「島根大学ミュージアム」の文字サインを、さらに入口前にも看板を設置したことで、構内の歩行者にとってより認識しやすくなり、入館しやすい雰囲気を作ることができた。こうしたことが奏功し、平成27年度は、前年度に対して600名以上の入館者数増となった。

表3 入館者数一覧

	ミュージアム本館 (平日開館)	山陰地域資料展示室 (団体客・希望者のみ)	サテライト旧奥谷宿舎 (土日祝日開館)	計
平成18年度計	878	589	—	1467
平成19年度計	820	2205	—	3025
平成20年度計	620	808	—	1428
平成21年度計	742	556	1905 (10～3月)	3203
平成22年度計	1018	856	2105	3979
平成23年度計	1103	1044	1430	3577
平成24年度計	1002	1042	2076	4120
平成25年度計	1262	1058	1201	3521
平成26年度計	1038	1006	1265	3309
27.4	216	99	88	403
27.5	86	26	119	231
27.6	122	110	50	282
27.7	85	59	143	287
27.8	154	20	267	441
27.9	222	187	82	491
27.10	395	304	228	927
27.11	122	185	65	372
27.12	163	145	36	344
28.1	22	1	32	55
28.2	25	15	34	74
28.3	49	30	60	139
平成27年度計	1661	1181	1204	4046
28.4	178	52	106	336
28.5	215	125	88	428
28.6	203	115	45	363
28.7	65	10	327	402
28.8	223	14	247	484
28.9	113	61	56	230
28.10	310	139	70	519
28.11	115	61	238	414
28.12	165	151	59	375
29.1	109	0	28	137
29.2	83	12	44	139
29.3	39	0	61	100
平成28年度計	1818	740	1369	3927

一方、山陰地域資料展示室は通常閉鎖されており、見学希望者のみに案内するため、団体見学者が多数を占める結果となっている。

②サテライトミュージアム島根大学旧奥谷宿舎（松江市奥谷町 140）

松江市奥谷町にあるサテライトミュージアム島根大学旧奥谷宿舎は、平成 21 年 10 月に修復工事を終えてオープンし、原則、土日祝日のみ午前 10 時～午後 5 時に開館している。入館者数は表 3 の通り。

（2）常設展示

①島根大学ミュージアム本館（開館日：平日 9：00～16：30）

■常設展示 1 「遺跡が語る島根大学の歴史」

島根大学松江キャンパスから出土した縄文時代から近代までの考古資料・写真パネルなどを用いた、キャンパスの歴史を展示。

■常設展示 2 「動物・骨・化石」

島根大学前身校の旧制松江高校・島根師範学校時代に教材として使用されていた動物標本・骨格標本や島根大学の各研究室が教育研究のなかで収集してきた化石、南極の岩石などを展示。

②島根大学旧奥谷宿舎（サテライトミュージアム）（開館日：土日祝日 10：00～17：00）

■常設展示「写真が語る島根大学の歴史と旧奥谷宿舎」

島根大学旧奥谷宿舎（サテライトミュージアム）の 1 階常設展示室①②において、島根大学とその前身校（旧制松江高校・島根師範学校・島根県立農科大学・島根医科大学など）および島根大学旧奥谷宿舎（旧制松江高等学校外国人宿舎）の写真、関連資料などを展示。

（3）企画展示など

①島根大学ミュージアム企画展示「洋館で見る出雲地域の化石展」

主催 島根大学学術情報機構ミュージアム

協力 島根大学総合理工学研究科地球資源環境学領域・島根大学汽水域研究センター・島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター・モニュメントミュージアム来待ストーン・(公財) 奥出雲多根自然博物館

日時 平成 27 年 7 月 18 日（土）～8 月 30 日（日）の毎日（8/13～14 のみ休館） 10：00～17：00

場所 サテライトミュージアム島根大学旧奥谷宿舎（松江市奥谷町 140） 1 階多目的室

目的・内容 島根大学では、永年の調査研究のなかで、出雲地域の様々な貴重な化石を発掘してきた。当企画展では、大正時代の洋館を会場にして、こうした島根大学の化石コレクションや研究成果を展示した。

【主な展示資料】

- ・島大生が発見・発掘したヒゲクジラ左下あごの化石
- ・世界最古約 1000 万年前のアユ化石
- ・学名・和名に出雲地域の地名がつけられた化石
- ・その他多数

評価 新しい試みとして、モニュメントミュージアム来待ストーン・(公財) 奥出雲多根自然博物館と協力し、3 館共同スタンプラリーを実施したところ好評であった。小中学校の夏休み期間中に開催したことにより、親子連れの来館が多かった。

②4館共同ニュース展示「島根県の石と日本遺産『たたら製鉄』」

主催 島根大学研究・学術情報機構ミュージアム、モニュメントミュージアム来待ストーン、(公財) 奥出雲多根自然博物館、石見銀山資料館

日時 平成28年6月1日(水)～7月29日(金) 平日のみ 9:00～16:30

場所

- ・島根大学ミュージアム本館展示室
- ・モニュメントミュージアム来待ストーン
- ・奥出雲多根自然博物館
- ・石見銀山資料館

目的・内容

来待石・自然銀・ミズホタコブネが日本地質学会「島根県の石」に選定され、「出雲國たたら風土記」が文化庁「日本遺産」に登録されたことを記念して、関連資料所蔵4館が共同で資料を展示した。

【主な展示資料】

- ・ミズホタコブネ
- ・石見銀山の自然銀
- ・黄銅鉞
- ・赤鉄鉞
- ・来待石石材
- ・ミニ石灯籠
- ・玉鋼

評価 他館と共同による展示は、新しい試みであったが、展示内容にニュース性があり、新聞にも掲載された。

③島根大学ミュージアム・附属図書館ミニ企画展「旧制松江高校出身の異才編集者 花森安治と田所太郎」

主催 島根大学研究・学術情報機構ミュージアム、島根大学附属図書館

<第1期>

日時 平成28年7月16日(土)～8月28日(日) 10:00～17:00

〔土日祝日のみ開館。平日は休館〕

場所 サテライトミュージアム 島根大学旧奥谷宿舎(旧制松江高校外国人宿舎、松江市奥谷町140)) 1階多目的室

<第2期>

日時 平成28年8月30日(火)～10月16日(日) 9:00～17:00

場所 島根大学附属図書館本館展示室(松江市西川津町1060)

目的・内容 平成28年度上半期・NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」の登場人物、花山伊佐次と五反田一郎のモチーフは、それぞれ旧制松江高校(現・島根大学)出身で、編集者として活躍した花森安治(『暮らしの手帖』創刊)と田所太郎(『図書新聞』創刊)であるといわれている。

2人の編集者としての原点は、旧制松江高校時代にある。今回のミニ展示では、現存する旧制松江高校唯一の建物である「島根大学旧奥谷宿舎(旧制松江高校外国人宿舎)」などを会場にして、わが校から輩出された2人の異才編集者の足跡についてたどった。

【主な展示資料】

- ・解説パネル
- ・花森安治・田所太郎らが編集した旧制松江高校『校友会雑誌』18～21号
- ・花森装本『旧制松高物語』今井出版 1968年
- ・『暮らしの手帖』創刊号～
- ・花森安治著『一匁五厘の旗』暮らしの手帖社 1971年
- ・田所太郎著『出版の先駆者』光文社 1969年

- ・田所太郎著『戦後出版の系譜』日本エディタースクール出版部 1976年
- ・杉山平一著『巡航船』編集工房ノア 2009年



4館共同ニュース展示「島根県の石と日本遺産『たたら製鉄』」(28.6.1~7.29)
認定された島根県の石(来待石・自然銀・ミズホタコブネ)などを展示。



ミニ企画展「旧制松江高校出身の異才編集者 花森安治と田所太郎(第1期)」(28.7.16~8.28)
花森安治・田所太郎の関連資料を展示。

評価 NHK松江放送局によるローカルニュースで紹介され、さらに放映中のドラマに関連するタイムリーな展示内容であったことから、多くの方々が見学し、島根大学の歴史や本学が輩出した著名人について、学んでいただくことができた。一方で、第1期会場のサテライトミュージアム島根大学旧奥谷宿舎は、駐車場が2台分しか確保されていないことから、ニュース放映の翌日、来館者が殺到し、自家用車で来られた方が駐車できず、迷惑をかけることになってしまった。

(4) 団体見学・キャンパスツアーなど

①団体見学・キャンパスツアー

内容 ミュージアム本館や山陰地域資料展示室に来館した見学者に分かりやすく展示解説した。またキャンパスツアーは、下記の基本コースを案内した。

<基本コース(約1時間半)>

正門守衛室前集合

- ①国登録文化財「島根大学正門」・旧制松江高等学校石碑
- ②総合理工学部3号館1F研究紹介コーナー・3号館高層階からキャンパスや市街地を展望
- ③ミュージアム本館
- ④古代出雲文化資料調査室
- ⑤汽水域研究センター「山陰地域・汽水域資料展示室」
- ⑥附属図書館本館、大学ホールなど

<平成27年度実績>

島根大学新入生歓迎ツアー、総合理工学部古生物学実習、川津小学校児童、淀江公民館26名、生物資源科学部、八雲中学校・米子高校生徒115名、出雲北陵中学校、呉宮原高校PTA、松江南高校、ホームカミングデー・キャンパスツアー、アフリカ訪日団、境高校・江津高校・隠岐高校・石見智翠館高校生徒84名、米子市老人会、玉島高校・矢上高校生徒83名、大田高校・平田高校・江津高校生徒75名、隠岐島前高校生徒20名、倉吉東高校PTA、荒神谷ボランティアの会19名

<平成28年度実績>

出雲市立向陽中学校、川津小学校児童91名、米子高校生徒55名、ホームカミングデー・キャンパスツアー、福山地区高等学校PTA連合会44名、広島県府中町町内会

評価 平成 23 年度以降、高大連携に伴う高校生団体の大学訪問や外国からの訪日団など、団体見学の際の展示解説が増加傾向にある。しかし平成 28 年度は、大学訪問に伴う高校生の団体見学が大幅に減少してしまった。今後、関連部署と連携して、ミュージアム見学をプログラムに組み入れてもらえるよう周知していきたい。

③島根大学オープンキャンパス企画「ミュージアム展示クイズに答えて島大グッズをゲットしよう！」

日時 平成 27 年 8 月 8 日（土）～9 日（日） 9：00～16：30
平成 28 年 8 月 7 日（日）～8 日（月） 9：00～16：30

場所 島根大学ミュージアム本館展示室

内容 ミュージアム本館の展示を見学し、展示内容に関するクイズに答えてもらう。全問正解で島根大学オリジナルグッズを進呈。

評価 平成 27・28 年度とも、それぞれ約 130 名以上の高校生などがクイズに取り組み、展示室を熱心に見学してもらうことができた。

④学園祭企画「島大ミュージアム・クイズラリー：クイズに答えてミュージアムグッズをもらおう！」

日時 平成 27 年 10 月 11 日（日）9：00～16：00、12 日（月祝）9：00～12：00
平成 28 年 10 月 9 日（日）9：00～16：00、10 日（月祝）9：00～12：00

場所 島根大学ミュージアム本館展示室・山陰地域資料展示室

内容 学内の展示室をめぐる、展示内容に関するクイズに答えてもらい、全問正解で島根大学オリジナルグッズを進呈。

評価 平成 27・28 年度とも、それぞれ約 200 名以上の親子・児童などがクイズに取り組み、展示室を熱心に見学してもらうことができた。

（5）市民講座・フィールド体験ツアーなど

①市民講座・特別講座

■平成 27 年度島根大学ミュージアム市民講座・第 1 ステージ「山と川をめぐる自然史と文化史」（まつえ市民大学連携講座）

主催 島根大学学術情報機構ミュージアム

共催 まつえ市民大学

対象 市民一般、高校生

場所 松江スティックビル（松江市白潟本町 43 番地） 松江市市民活動センター 201・202 研修室

内容 山や川は、大自然の営みによって形成され、雄大な景観を生み出してきた。そして人間は、こうした山・川とともに暮らし、特別な思いも抱いてきた。本講座では、島根や世界の山や川に関わる自然史・文化史について、いくつかのトピックをあげて解説した。

・第 78 回 「人の暮らしに近い山、三瓶山」

講師 中村唯史（三瓶自然館学芸員・島根大学嘱託講師）

日時 平成 27 年 5 月 30 日（土） 13：00～14：30

・第 79 回 「世界で最も深い谷の景観と自然史：ネパール・カリガンダキ川」

講師 酒井哲弥（島根大学総合理工学研究科准教授・島根大学ミュージアム兼任研究員）

日時 平成 27 年 6 月 27 日（土） 13：00～14：30

・第 80 回 『出雲国風土記』にみる山の信仰

講師 西尾克己（大田市教育委員会（石見銀山世界遺産センター））

日時 平成 27 年 7 月 4 日（土） 13：00～14：30

・第 81 回 「山・川と古代人の信仰」

講師 会下和宏（島根大学ミュージアム副館長・准教授）

日時 平成 27 年 8 月 29 日（土） 13：00～14：30

評価 受講者数はのべ 154 名。

■平成 27 年度島根大学ミュージアム市民講座・第 2 ステージ「遺跡から探る『古代出雲』の成り立ち」(まつえ市民大学連携講座・島根大学COC事業)

主催 島根大学学術情報機構ミュージアム・島根大学古代出雲プロジェクトセンター

共催 まつえ市民大学

対象 市民一般・高校生

場所 松江スティックビル(松江市白潟本町 43 番地) 松江市市民活動センター 201・202 研修室

内容 古代の律令体制整備に伴って、明確に現れてくる「出雲国」は、どのように成立したのか、先史・古代の遺跡をもとに、様々な視点から解説した。

・第 82 回 「弥生集落の動向からみた出雲地域の成り立ち」

講師 会下和宏(島根大学ミュージアム准教授・副館長)

日時 平成 27 年 10 月 31 日(土) 13:00~14:30

・第 83 回 「出土文字資料からみた『古代出雲』—墨書・刻書土器を中心に—

講師 高橋 周(出雲弥生の森博物館専門研究員)

日時 平成 27 年 11 月 7 日(土) 13:00~14:30

・第 84 回 「出雲国府と出雲国誕生」

講師 大橋泰夫(島根大学法文学部教授・島根大学古代出雲プロジェクトセンター長)

日時 平成 27 年 12 月 5 日(土) 13:00~14:30

・第 85 回 「石棺式石室と黄泉の国訪問譚—九州・山陰・畿内とその境界—

講師 岩本 崇(島根大学法文学部准教授・島根大学ミュージアム兼任研究員)

日時 平成 28 年 2 月 20 日(土) 13:00~14:30

・第 86 回 「先史・古代東アジア海域交流の一側面—朝鮮半島・北部九州・山陰—

講師 平郡達哉(島根大学法文学部准教授・島根大学ミュージアム兼任研究員)

日時 平成 28 年 3 月 19 日(土) 13:00~14:30

評価 受講者数はのべ 225 名。

■平成 28 年度島根大学ミュージアム市民講座第 1 ステージ「世界を股に掛ける！島大の調査研究(フィールドワーク)」(まつえ市民大学連携講座)

主催 島根大学研究・学術情報機構ミュージアム

共催 まつえ市民大学

対象 市民一般・高校生

場所 松江スティックビル(松江市白潟本町 43 番地) 松江市市民活動センター 201・202 研修室

・第 87 回 「東南アジア・ラオスの歴史と遺跡」

講師 会下和宏(島根大学ミュージアム准教授・副館長)

日時 平成 28 年 6 月 4 日(土) 13:00~14:30

・第 88 回 「スリランカの自然環境と直面する災害」

講師 石賀裕明(島根大学総合理工学研究科教授)

日時 平成 28 年 6 月 25 日(土) 13:00~14:30

・第 89 回 「寧夏回族自治区における課題解決型の研究交流について—島根大学・寧夏大学国際共同研究所の活動紹介—

講師 関 耕平(島根大学法文学部准教授/島根大学・寧夏大学国際共同研究所副所長)

日時 平成 28 年 7 月 16 日(土) 13:00~14:30

・第 90 回 「太平洋の小さな島国からみる世界~ヴァヌアツをフィールドとして」

講師 福井栄二郎(島根大学法文学部准教授)

日時 平成 28 年 8 月 6 日(土) 13:00~14:30

評価 受講者数はのべ 99 名。

■平成 28 年度島根大学ミュージアム市民講座第 2 ステージ「『古代出雲』の交通ネットワークを探る」(まつえ市民大学連携講座)

主催 島根大学研究・学術情報機構ミュージアム・島根大学古代出雲プロジェクトセンター・島

根大法文学部山陰研究センター『出雲国風土記』の学際的研究プロジェクト

共催 まつえ市民大学

対象 市民一般・高校生

場所 松江スティックビル（松江市白潟本町 43 番地） 松江市市民活動センター 201・202 研修室

- ・ **第 91 回** 『出雲国風土記』と掘り出された古代の道
講師 大橋泰夫（島根大学法文学部教授・島根大学古代出雲プロジェクトセンター長）
日時 平成 28 年 10 月 2 日（日） 13：00～14：30
- ・ **第 92 回** 「弥生時代の山陰におけるモノの流通」
講師 会下和宏（島根大学ミュージアム副館長・准教授）
日時 平成 28 年 10 月 23 日（日） 13：00～14：30
- ・ **第 93 回** 「古代の道とゆきかう人々」
講師 大日方克己（島根大学法文学部教授）
日時 平成 29 年 1 月 8 日（日） 13：00～14：30
- ・ **第 94 回** 「大原郡家の移転について―雲南市・郡垣遺跡の調査成果を中心に」
講師 志賀 崇（雲南市教育委員会）
日時 平成 29 年 2 月 12 日（日） 13：00～14：30

評価 受講者数はのべ 110 名。

■島根大学ミュージアム特別講座 in 広島 Part 2 「続・『古代出雲』文化へのいざない」

主催 島根大学ミュージアム・島根大学古代出雲プロジェクトセンター・島根大学広島オフィス

対象 市民一般・高校生

定員 60 名

場所 広島市まちづくり市民交流プラザ（広島市中区袋町 6-36） 北棟 5 階 研修室 A

内容 平成 25 年度に島根大学ミュージアム特別講座 in 広島「出雲文化へのいざない」を開催した際、大変好評で再度の開催要望が多く寄せられたことから、パート 2 として企画。「古代出雲」をめぐる様々なトピックについて、島根大学の教員が、リレー形式で分かりやすく講義した。

・ **第 1 回** 「初めて列島に到達したホモ・サピエンスの痕跡―中国山地～隠岐諸島における後期旧石器時代前半期の石材獲得行動」

講師 及川 穰（島根大学法文学部准教授）

日時 平成 28 年 10 月 22 日（土） 13：15～14：45

・ **第 2 回** 「弥生時代の集落・墳墓からみた『出雲』の成り立ち」

講師 会下和宏（島根大学ミュージアム副館長・准教授）

日時 平成 28 年 11 月 5 日（土） 13：15～14：45

・ **第 3 回** 「考古学からみた先史・古代の出雲と朝鮮半島」

講師 平郡達哉（島根大学法文学部准教授）

日時 平成 28 年 12 月 3 日（土） 13：15～14：45

・ **第 4 回** 「再生される四隅突出型墳丘墓」

講師 岩本 崇（島根大学法文学部准教授）

日時 平成 29 年 1 月 21 日（土） 13：15～14：45

・ **第 5 回** 「東アジアのなかの古代出雲」

講師 大日方克己（島根大学法文学部教授）

日時 平成 29 年 2 月 4 日（土） 13：15～14：45

・ **第 6 回** 『出雲国風土記』と掘り出された古代の道」

講師 大橋泰夫（島根大学法文学部教授・島根大学古代出雲プロジェクトセンター長）

日時 平成 29 年 2 月 18 日（土） 13：15～14：45

評価 受講申し込みが殺到し、広島での古代出雲に対する関心の高さがうかがえた。最終回に実施したアンケートでは、内容レベルが「難しかった／丁度よかった／やさしかった」のうち、「丁

度よかった」が約 80%だった。また、「島根県の歴史について学べて良かった／歴史を勉強する楽しさを感じ取れた／実際に遺跡がある現地にも訪ねてみたい／広島まで来て講演していただくことに感謝します／講演内容についてより深く知りたいので参考文献を教えてください」などの感想をいただいた。今後も継続して開催してほしいという要望もあるなど、大変好評だった。

②フィールド体験ツアー

目的 フィールド体験ツアーは、豊かで多様性のある島根県内の自然・歴史・文化資源をフィールドミュージアムにみたくて、島根大学所有のバスを活用して現地に訪れ、見学する企画である。県内に埋もれた地域資源を再発見してもらうことを目的としている。例年、島根大学生涯教育推進センターが運営する島根大学公開講座の一環として実施している。

■島根大学公開講座・第 11 回島根まるごとミュージアム体験ツアー「国史跡の縄文時代洞窟遺跡を訪れる」

主催 島根大学学術情報機構ミュージアム

講師 会下和宏（島根大学ミュージアム副館長・准教授）

日時 平成 27 年 8 月 8 日（土） 9:00～13:00

場所 島根大学汽水域研究センター中海分室・権現山洞窟遺跡・サルガ鼻洞窟遺跡

内容 中海北岸にある権現山洞窟遺跡・サルガ鼻洞窟遺跡に実際に訪れ、縄文時代の暮らしについて学んだ。サルガ鼻洞窟遺跡は、江島にある島根大学汽水域研究センター中海分室からセンター所有船で渡った。

評価 参加者は 14 名。予定通り見学することができた。考古学研究における現地を訪れることの重要性について理解してもらうことができた。

■島根大学公開講座・第 12 回島根まるごとミュージアム体験ツアー「ローカル鉄道『三江線』で巡る江の川流域の地域遺産Ⅱ」

主催 島根大学研究・学術情報機構ミュージアム

講師 会下和宏（島根大学ミュージアム副館長・准教授）

日時 平成 28 年 5 月 21 日（土） 8:00～15:10

場所 邑智郡邑南町・美郷町

内容 「三江線」は、美しい景観をつくる江の川に沿って走るローカル鉄道であり、絶対に残さなければならぬ近代産業遺産である。今回のツアーでは、バスと三江線で史跡・近代建築を訪ね、江の川流域の地域遺産について学んだ。

<コース>

8:00 島根大学（松江キャンパス） バス出発

10:00 松江道経由で JR口羽駅 着

10:53 JR口羽駅 発（バスのみJR粕淵駅に先回り）

11:31 JR粕淵駅 着

（JR三江線 口羽・乗車→伊賀和志→宇都井→石見都賀→石見松原→潮→沢谷→浜原→粕淵・下車）

12:15 粕淵市街地の町歩き。銀山街道・本陣跡・旧邑智町役場・浄土寺など見学。

13:20 粕淵 発

15:10 JR松江駅、島根大学（松江キャンパス） 着

評価 参加者は 30 名。のんびり進んでいく列車からは、石州赤瓦の屋根や日光が乱反射する水田での田植えの様子を見おろすことができた。また、車窓からの景観を眺めながら、柿本人麻呂の妻・依羅娘の歌にみえる「石川」が江の川を指すとする斎藤茂吉の説について、万葉時代に思いをはせながら考えてもらうこともできた。

③親子で学ぶ子どもミュージアム体験教室（小学生向け企画）

目的 子どもミュージアム体験教室は、島根大学がもつ研究機器や機材を活用して、小中学生向けに様々なミュージアム体験をしてもらうミュージアム・スタート活動である。児童・生徒たちに、島根大学でどんな研究をしているのか、大学内部の研究施設がどうなっているのかについて理解してもらうことで、将来的な島根大学進学への動機付けにってもらうこともねらいとしている。

■夏休み子どもミュージアム体験教室「宍道湖・中海の水底に潜む生物を観察しよう！」

主催 島根大学学術情報機構ミュージアム

後援 松江市教育委員会

講師 倉田健悟（島根大学汽水域研究センター准教授）

日時 平成27年8月4日（火） 13:30～15:00

場所 島根大学学生市民交流ハウス「FLAT」

評価 定員を超えたため抽選した。参加者は30名（親子15組）。参加親子は、中海・大橋川・宍道湖の泥サンプルから、熱心に小動物を採取し、顕微鏡で観察を行っていた。稀少な節足動物を発見し、歓声をあげる児童もみられた。教室の様子は、NHKニュースで報道された。

■夏休み子どもミュージアム体験教室「縄文人が暮らした洞窟遺跡を船で探検してみよう！」

主催 島根大学学術情報機構ミュージアム

講師 会下和宏（島根大学ミュージアム副館長・准教授）

日時 平成27年8月8日（土） 13:30～16:00

場所 島根大学汽水域研究センター中海分室・サルガ鼻洞窟遺跡

評価 参加者は14名（親子7組）。船で洞窟遺跡まで渡るといふ、参加児童にとっては非日常的な夏休みの経験となった。

■夏休み子どもミュージアム体験教室「いいとこ探検隊！ in 沖泊 一島根半島の大自然と食と暮らしを体験しよう！」

主催 島根大学研究・学術情報機構ミュージアム・沖泊地げおこし委員会・海の学校

後援 松江市・松江市教育委員会

講師 召古裕士（NPO法人日本エコビレッジ研究会理事長）・小川雅道（漁民の会代表）・朝田永子（沖泊地区海女 代表）・入月俊明（島根大学ミュージアム館長）

日時 平成28年8月6日（土） 9:30～15:30

場所 松江市島根ダイビングセンター（松江市島根町多古1425-3）

評価 参加者は37名。タイドプールでの生き物観察、漁村の町歩き、郷土料理試食など、五感をフルに使った、様々な「学び」体験プログラムにすることができた。地域の団体とも連携することで、大学と地域との関係強化や地域貢献につなげることができた。

④特別講演会

■島根大学ミュージアム発足10周年記念特別講演会「遺跡と至宝が眠る大地の中の島大キャンパス ー大学ミュージアムは地（知）のワンダーランド！」

主催 島根大学学術情報機構ミュージアム

後援 島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター・島根大学古代出雲プロジェクトセンター・島根大学総合理工学部地球資源環境学領域・島根大学法文学部考古学研究室・モニメントミュージアム来待ストーン・しまねミュージアム協議会

日時 平成28年3月26日（土） 13:00～17:00

場所 島根大学 総合理工学部 1号館 21番教室（松江市西川津町1060）

対象 市民一般・大学生・高校生



第 89 回ミュージアム講座「寧夏回族自治区における課題解決型の研究交流について—島根大学・寧夏大学国際共同研究所の活動紹介」(28. 7. 16)



第 1 回島根大学ミュージアム特別講座 in 広島 Part2「初めて列島に到達したホモ・サピエンスの痕跡—中国山地～隠岐諸島における後期旧石器時代前半期の石材獲得行動」(28. 10. 22)



夏休み子どもミュージアム体験教室「宍道湖・中海の水底に棲む生物を観察しよう！」(27. 8. 4)



夏休み子どもミュージアム体験教室「いいところ探検隊！ in 沖泊 一島根半島の大自然と食とくらしを体験しよう！」(28. 8. 6)



第 12 回島根まるごとミュージアム体験ツアー「ローカル鉄道『三江線』で巡る江の川流域の地域遺産Ⅱ」(28. 5. 21)



島根大学ミュージアム発足 10 周年記念特別講演会「遺跡と至宝が眠る大地の中の島大キャンパス—大学ミュージアムは地（知）のワンダーランド！」(28. 3. 26)

内容

◆開会挨拶 (13:00～13:05)

秋重幸邦 (島根大学 企画・学術研究担当 副学長・学術情報機構長)

◆第1部 大学ミュージアムの歩みとこれから (13:05~14:05)

・基調講演「大学ミュージアムと地域の文化創造」高安克己(島根大学名誉教授・ミュージアム初代館長)

・報告「島根大学ミュージアム10年のあゆみ」会下和宏(島根大学准教授・ミュージアム副館長)

・次の10年へ向けたコメント

◆第2部 ミュージアムの至宝 (14:10~15:55)

・講演1「キャンパス周辺の大地と化石~日本海と日本列島の形成」入月俊明(島根大学教授・ミュージアム館長)

・講演2「謎の動物・パレオパラドキシアの復元」谷戸 茂(モニュメントミュージアム来待ストーン)

・講演3「遺跡の中の島大キャンパス~発掘が語る学び舎の歴史」会下和宏(島根大学准教授・ミュージアム副館長)

・講演4「島大標本に見る絶滅した島根の動物~ニホンアシカ」高安克己(島根大学名誉教授・ミュージアム初代館長)

◆第3部 ギャラリートーク (16:00~17:00)

ミュージアム本館, 山陰地域資料展示室, 古代出雲文化資料調査室展示室の見学と解説

評価 島根大学ミュージアム10年間の活動を総括し、次の10年に向けて展望を描く良い節目となるイベントになった。

⑤ その他

下記の普及啓発活動について共催・後援・協力した。

■第4回くにびきジオパーク探訪会「古代人もびっくり!神秘のジオツアー!年輪のような海岸、赤い海岸、そして巨石」

主催 島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター

共催 島根大学ミュージアム・島根大学教育学部・島根大学総合理工学研究科地球資源環境学領域・島根大学COC事業・鰐淵コミュニティーセンター・出雲市佐香コミュニティーセンター

後援 出雲市・松江市

日時 平成27年10月24日(土) 8:50~17:00

場所 小伊津海岸・立石神社・赤浦海岸

■第5回くにびきジオパーク探訪会「生き物と化石から宍道湖の成り立ちを探る旅」

主催 島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター、モニュメントミュージアム来待ストーン

共催 宍道湖自然館ゴビウス・大野津神社・宍道湖漁業協同組合・宍道湖建設株式会社・島根大学ミュージアム・島根大学総合理工学研究科地球資源環境学領域・島根大学教育学部自然環境教育講座・島根大学COC事業

日時 平成27年10月31日(土) 10:00~15:45

場所 大野津神、宍道湖自然館ゴビウス、布志名層の土壌置場など

■平成27年度くにびきジオパークプロジェクトセンター企画シンポジウム「神話・伝説と自然科学が融合したユニークなジオパークをめざして!」

主催 島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター

共催 島根大学戦略的研究推進センター・島根大学大学院総合理工学研究科地球資源環境学領域・島根大学教育学部・島根大学ミュージアム・島根大学汽水域研究センター・島根県・島根県松江市・島根県出雲市

日時 平成27年10月31日(土) 10:00~15:45

場所 出雲市民会館

■平成27年度くにびきジオパーク・プロジェクトシンポジウム「めざせ、くにびきジオパーク」

主催 島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター

共催 中国地質調査業協会島根県支部・島根県地学会

後援 島根大学戦略的研究推進センター・島根大学大学院総合理工学研究科地球資源環境学領域・島根大学教育学部・島根大学ミュージアム・モニュメントミュージアム来待ストーン・奥出雲多根自然博物館・島根県・島根県松江市・島根県出雲市

日時 平成28年3月6日(日) 13:00~17:30

場所 くにびきメッセ 501大会議室

■平成28年度くにびきジオパーク・プロジェクトシンポジウム「めざせ！くにびきジオパーク」

主催 島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター

共催 国引きジオパーク推進協議会

後援 島根大学戦略的研究推進センター・島根大学大学院総合理工学研究科地球資源環境学領域・島根大学教育学部・島根大学ミュージアム・モニュメントミュージアム来待ストーン・松江市・出雲市

日時 平成29年3月5日(日) 13:00~17:30

場所 くにびきメッセ 501大会議室

■島根大学公開講座(出前講座)「高津川流域の資源と文化を考える」

主催 島根大学生涯教育推進センター

共催 益田市教育委員会・島根大学ミュージアム・島根大学水産資源管理プロジェクトセンター

日時 平成29年3月4日(土)・11日(土) 13:00~16:30

場所 益田市立高津公民館・益田市立図書館

(6) インターネットを活用した情報発信

①「島根大学標本資料類データベース」のデータ登録・公開

平成23年度島根大学政策配分経費(重点プロジェクト経費<教育改革推進経費>)をもとにシステム構築を行った「島根大学標本資料類データベース」に本学所蔵標本資料類のデータ登録を行った。本データベースは、総合大学である島根大学が収集してきた植物・藻類・動物・昆虫・化石・鉱物・岩石・理工系・美術・考古・民俗・記録史料・写真など、様々な分野の標本資料類を収載している。

- ・登録数 6,796件
- ・閲覧回数 188,300(平成24年1月12日~平成29年3月20日)
- ・URL <http://museum-database.shimane-u.ac.jp/specimen/>

②「島根県遺跡データベース」のデータ登録

「島根県遺跡データベース」(平成15年度地域貢献事業によって島根大学地域貢献協議会が制作)に島根県内の遺跡データ(遺跡・遺構・遺物・調査・文献データ)を登録した。データは、自治体・個人などが発行・発表した平成25年度刊行発掘調査報告書・資料紹介などに掲載してある情報を整理して収載した。

なお、本データベースは、936,100回(平成29年3月20日)のアクセスを記録しており、きわめて使用頻度が高い。

- ・URL <http://iseki.shimane-u.ac.jp/>

5 本学構内の埋蔵文化財の取扱い

(1) 工事立会

松江・出雲キャンパス内の仮設建物の設置工事などに際し、工事範囲が狭小で、深度も近現代盛土の範囲内に留まること、あるいは過去の開発工事によって既に攪乱されている範囲であったことから、地下の埋蔵文化財に影響がないことを想定し、工事立会で対応した。立会の結果、いずれも想定通りであったことを確認した。

(2) 島根大学構内遺跡第15・16・17・18・19・20・21次発掘調査、寿昌寺西遺跡

第1次発掘調査の整理・研究

上記調査のほか、平成18年度実施の島根大学構内遺跡第15次調査、平成19年度実施の同遺跡第16次調査、平成20年度実施の同遺跡第17次調査、平成21年度実施の同遺跡第18次調査、平成24年度実施の同遺跡第19次調査、寿昌寺西遺跡第1次調査などの出土遺物実測・トレース、遺構図面トレース、出土材化石のプレパラート標本化といった室内整理作業を進めた。

6 島根大学旧奥谷宿舎（サテライトミュージアム）の活用

島根大学旧奥谷宿舎（サテライトミュージアム）は、1924（大正13）年11月竣工の旧制松江高等学校外国人教師（独語教師）宿舎で、国登録有形文化財にも登録されている。平成21年10月に修復工事を終え、サテライトミュージアムとしてオープン、平成28年10月で7周年を迎えた。

平成27・28年度も引き続き、1階常設展示室では、「写真が語る島根大学の歴史と旧奥谷宿舎」を一部展示替えしつつ開催したほか、1階多目的室を中心にミュージアムによる企画展示などを行った。このほか、地域貢献事業の一環として、学内外団体との共催による様々なイベント（作品展・ミニ教室など）を開催し、持続的に集客できる施設にするよう努めた。

① 展示活動

- ・平成27年3月7日（土）～5月10日（日）の土日祝日 島根大学ミュージアム企画展「島根師範学校の遺産Ⅱ－島根大学教育学部附属幼稚園に伝え遺されてきた近代の教材－」（島根大学ミュージアム主催）
- ・平成27年7月18日（土）～8月30日（日） 島根大学ミュージアム企画展「洋館で見る出雲地域の化石展」（島根大学ミュージアム主催）
- ・平成27年9月5日（土）～11月23日（月）の土日祝日 島根大学ミュージアムアンコール展示「平和を愛した永井隆博士パネル展」（島根大学ミュージアム主催）
- ・平成27年11月28日（土）～平成28年3月27日（日）の土日祝日 写真展「松本博美写真展 松江散歩・たたらノ里」（個人主催）
- ・平成28年4月23日（土）～24日（土） 作品展「心の花びら展 in 島根」（個人主催）
- ・平成28年6月25日（土）～29日（水） 島根大学写真部作品展「水無月展」（島根大学写真部主催）
- ・平成28年7月16日（土）～8月28日（日）の土日祝日 島根大学ミュージアム・附属図書館企画展示「旧制松江高校出身の異才編集者 花森安治と田所太郎」（島根大学ミュージアム・附属図書館主催）

- ・平成28年10月29日（土）～12月25日（日）の土日祝日 写真展「福間彰 島根大学名誉教授卒寿記念“人生のあゆみ”」（個人主催）



島根大学写真部作品展「水無月展」(28. 6. 25～6. 29)



写真展「福間彰 島根大学名誉教授卒寿記念“人生のあゆみ”」(28. 10. 29～12. 25)

② ミニ教室

- ・平成27年4月11日（土） 語学教室（個人主催）
- ・平成29年3月12日（日） 写真撮影会（市民サークル主催）

③ 授業での活用

- ・平成27年10月30日（金） 島大ミュージアム学（教養科目）
- ・平成28年11月4日（金） 島大ミュージアム学（教養科目）

7 マスコミ報道状況

- ・平成27年7月21日 島根日々新聞「洋館で化石をじっくり」（島根大学ミュージアム企画展「洋館で見る出雲地域の化石展」）
- ・平成27年8月5日 NHK松江放送局ニュース（夏休み子どもミュージアム体験教室「宍道湖・中海の水底に棲む生物を観察しよう！」）
- ・平成28年3月12日 山陰中央新報「活動意義や所蔵資料紹介 松江・島根大ミュージアム 26日特別講演会」（島根大学ミュージアム発足10周年記念特別講演会「遺跡と至宝が眠る大地の中の島大キャンパスー大学ミュージアムは地（知）のワンダーランド！ー」）
- ・平成28年3月23日 山陰中央新報「大学ミュージアムと地域の文化創造（高安克己）」（島根大学ミュージアム発足10周年記念特別講演会「遺跡と至宝が眠る大地の中の島大キャンパスー大学ミュージアムは地（知）のワンダーランド！ー」）
- ・平成28年4月24日 朝日新聞「『捨てる一歩手前』を作品に」（心の花びら展 in 島根）
- ・平成28年6月1日 中国新聞「4博物館 玉鋼を一斉展示 きょうから「県の石」3種も」（4館共同ニュース展示「島根県の石と日本遺産『たたら製鉄』」）
- ・平成28年6月1日 山陰中央新報「東南アジア・ラオスの遺跡（会下和宏）」（第87回ミュージアム講座「東南アジア・ラオスの歴史と遺跡」）
- ・平成28年6月5日 島根日日新聞「『県の石』4館同時展示」（4館共同ニュース展示「島根県の石と日本遺産『たたら製鉄』」）
- ・平成28年6月24日 山陰中央新報「スリランカの自然環境と直面する災害（石賀裕明）」（第88回ミュージアム講座「スリランカの自然環境と直面する災害」）

- ・平成28年7月12日 山陰中央新報「島根大学・寧夏大学国際共同研究所 課題解決型の研究交流（関耕平）」（第89回ミュージアム講座「寧夏回族自治区における課題解決型の研究交流について～島根大学・寧夏大学国際共同研究所の活動紹介」）
- ・平成28年7月12日 NHK松江放送局ニュース（島根大学ミュージアム・附属図書館ミニ企画展「旧制松江高校出身の異才編集者 花森安治と田所太郎」）
- ・平成28年8月4日 山陰中央新報「観光客の波 生活が一変（福井栄二郎）」（第90回ミュージアム講座「太平洋の小さな島国からみる世界～ヴァヌアツをフィールドとして」）
- ・平成28年8月6日 TSKニュース（夏休み子どもミュージアム体験教室「いいとこ探検隊！ in 沖泊 ～島根半島の大自然と食とくらしを体験しよう！～」）
- ・平成28年8月7日 朝日新聞「観光客急増 暮らし急変 南太平洋・島国バヌアツ」（第90回ミュージアム講座「太平洋の小さな島国からみる世界～ヴァヌアツをフィールドとして」）
- ・平成28年9月7日 朝日新聞「『と姉ちゃん』に登場 花森・田所に焦点 島根大附属図書館でミニ企画展」（島根大学ミュージアム・附属図書館ミニ企画展「旧制松江高校出身の異才編集者 花森安治と田所太郎」（第2期））

8 ミュージアム教員の活動記録

会下和宏 EGE Kazuhiro 准教授

著書・論文など

- ・会下和宏 2015「遺跡・史跡をめぐる」『フィールドで学ぶ斐伊川百科』今井書店 pp. 244-250
- ・会下和宏 2015『墓制の展開にみる弥生社会』同成社（単著、全275頁）
- ・会下和宏 2016「山陰における弥生墳丘墓・集落の動向／弥生墳墓の副葬品配置」『第2回伊都国フォーラム 倭国誕生－伊都国から邪馬台国へー』糸島市教育委員会 pp. 30-33
- ・黄 曉芬・木下保明・会下和宏ほか 2017『交趾郡治・ルイロウ遺跡Ⅱ』平成25～28年度科学研究費補助金基盤研究A（一般）研究成果報告書（課題番号 25244038）「東アジア文化圏の形成に果たした漢代郡県都市に関する学際的研究」報告書
- ・会下和宏・田中義昭 2017「江の川からみた三江線沿線地域の歴史を考える」『三江線の過去・現在・未来：地域の持続可能性とローカル線の役割』今井書店 pp. 1-19
- ・会下和宏 2017「三江線敷設の経緯から考える歴史的価値」『三江線の過去・現在・未来：地域の持続可能性とローカル線の役割』

学会発表など

- ・黄 曉芬・木下保明・阮 文団・黎 文戦・会下和宏・懐 英・丁 麗玄・池田 拓 2016「ベトナム交趾郡治ルイロウ遺跡第2次発掘調査」『一般社団法人日本考古学協会第82回（2016年度）総会』（於・東京学芸大学）
- ・会下和宏 2016「内城発掘区T4・T5の調査について／ルイロウ清姜墳墓群M1・M18の測量調査」『交趾郡治・ルイロウ遺跡の探究：科研費補助金H25-28年度基盤A（代表者：黄曉芬）「東アジア文化圏の形成に果たした漢代郡県都市に関する学際的研究」研究会』（於・京都大学）

社会的活動（島根大学ミュージアム主催のものは省略）

- ・講師『出雲の弥生時代中期と後期を考える』『平成27年度荒神谷博物館講演会（第121回）』荒神谷博物館主催（2015.9.19、於・出雲市・荒神谷博物館）
- ・講師「島根半島中央部 佐香地域の自然・歴史・文化」『第4回くにびきジオパークプロジェクト探訪会』島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター主催（2015.10.24、於・出雲市坂浦町ほか）

- ・講師「墳墓の展開からみた弥生社会」『コレージュ・ド・シマネ』コレージュ・ド・シマネ主催 (2015. 11. 8、於・松江市・八雲立つ風土記の丘)
- ・シンポジウムパネリスト『第2回伊都国フォーラム・倭国誕生ー伊都国から邪馬台国へー』 (2015. 2. 7、於・福岡県糸島市・伊都文化会館)
- ・コーディネーター「第2部・座談会・古代の出雲と九州、そして東アジア」『古代出雲文化フォーラムⅣ』島根大学主催 (2016. 3. 5、於・太宰府市・九州国立博物館)
- ・講師「日本列島に鉄が普及した時代～山陰の弥生遺跡を中心に～」『第21回やすぎ刃物まつり刃物鋼シンポジウム』和鋼博物館主催 (2016. 5. 3、於・安来市・和鋼博物館)
- ・講師「フリッツ・カルシュ博士と島根大学旧奥谷宿舎について」『松江地区・地歴公民研 研修会』松江地区・地歴公民研主催 (2017. 2. 13、於・松江市・島根大学旧奥谷宿舎)
- ・講師「第5回・国引きジオパークジオガイド養成講座『国引きジオパーク構想エリアの歴史・神話・考古』国引きジオパーク推進協議会主催 (2017. 2. 25、於・松江市市民活動センター)
- ・講師「銀山街道 今も息づく歴史遺産」『銀山街道講演会 (銀の道の文化人・佐和華谷展)』美郷町教育委員会主催 (2017. 3. 4、於・邑智郡美郷町・みさと館)
- ・講師「遺跡から探る石見の歴史～縄文時代から中世までの高津川流域を中心に～」『島根大学公開講座 (出前講座)・高津川流域の資源と文化を考える』島根大学生涯教育推進センター主催 (2017. 3. 11、於・益田市・益田市立市民学習センター)
- ・司会「第2部・座談会・『出雲国風土記』と古代の道」『古代出雲文化フォーラムⅤ』島根大学主催 (2017. 3. 19、於・東京都千代田区・一ツ橋ホール)
- ・出雲弥生の森博物館運営協議会 会長 2015・2016年度
- ・美郷町銀山街道歴史的価値検討委員会 委員 2015・2016年度
- ・くにびきジオパーク推進協議会 委員 2016年度
- ・日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会 委員 2015・2016年度
- ・島根考古学会幹事 2015・2016年度

担当授業

【学芸員資格取得に関する科目 (ミュージアム開講)】

- ・「博物館概論A」
- ・「博物館資料論」
- ・「博物館資料保存論」(分担)
- ・「博物館展示論A」
- ・「博物館教育論A」
- ・「博物館教育論B」
- ・「博物館情報・メディア論A」
- ・「博物館情報・メディア論B」
- ・「博物館学各論Ⅱ」(島根大学生物資源科学部学生向け、平成27年度)
- ・「博物館実習Ⅰ」(島根大学法文学部学生向け)
- ・「博物館実習Ⅱ」(島根大学法文学部・総合理工学部学生向け、分担)
- ・「博物館実習Ⅲ」(島根大学法文学部・総合理工学部学生向け)

【島根大学共通教養科目ほか】

- ・「島大ミュージアム学」(ミュージアム開講、分担、公開授業)
- ・「フィールドで学ぶ『斐伊川百科』」(法文学部開講、分担)
- ・「ジオパーク学入門」(くにびきジオパークプロジェクトセンター開講、分担)
- ・「ジオパーク学各論」(くにびきジオパークプロジェクトセンター開講、分担)

【学外非常勤講師としての科目】

- ・「弥生時代の墳墓とその社会」『専門科目：人間と文化』(放送大学) 2016. 1. 16～17

島根大学 研究・学術情報機構
ミュージアム年報
平成 27・28 年度

発行 2017年 3 月31日
発行者 島根大学 研究・学術情報機構 ミュージアム
〒690-8504 松江市西川津町1060
電話 (0852) 32-6496
印刷 株式会社谷口印刷
